**がまだすドーム**

がまだすドームでは科学、歴史、文化を組み合わせ、島原半島を訪れる人々に火山の世界を紹介している。自然災害が教えてくれること、技術により将来の噴火に対してどのように備えるかということを学ぼう。

「最善を尽くす」という言葉にちなんで作られたこの博物館は災害に直面した中で復興した精神と楽観性を体現している。ドームは 1990 年から 1995 年の破壊的な平成噴火を記憶しておくために 2002 年に建てられたが、博物館のスタッフは地域の噴火の歴史をすべて説明する展示品を制作した。紙芝居の手法で語られるマルチメディアプレゼンテーションを通して 1792 年の島原の大惨事について学べる一方で、インタラクティブな展示で火山モニタリングと防災のハイテクワールドが紹介されている。